

# オリジナル防災マップを作ろう

自分のまちで想定される災害を事前に把握し、対策を講じることが、災害から身を守る一番の近道となります。地域や家族で「防災マップ」を作り情報を共有しましょう。

## 進め方 ①

### まち歩き(調査)用の道具を揃える

- まち歩き(調査)用地図…住宅地図、都市計画図など  
カメラ、筆記用具、付箋を用意する。
- チェックシート……………安全な場所=公園・広場など、  
危険な場所=狭い道・水路などを  
書き込む。
- 丸型ラベルシール……………防災上役に立つもの(消火栓など)を  
色分けし、項目ごとに地図上に貼る。
- 地図用の台紙

## 進め方 ②

### グループを作り、役割分担をする

地域で「防災マップ」を作る場合は、1グループ6～10人程度の班を作り、1時間程度で歩くことのできる調査範囲と役割分担を決めます。

- グループ長:グループを統括する。
- 記録係:発見した内容を地図やチェックシートに書き込む。
- 撮影係:発見したものを撮影する。  
(撮影場所を地図に書き込む。)
- 測定係:メジャーで道幅などを測る。  
(数値を地図に書き込む。)
- 車両誘導係:事故にあわないように安全管理をする。

## 進め方 ③

### まち歩き(調査)をする

[チェックポイント]

- 地域の避難場所は?(例:ツインドーム重信)
- 危険な場所は?(例:ため池)
- 行き止まりの道は?
- 高齢者の一人暮らしや高齢者だけの家は?
- 災害に役立つ知識の持ち主(消防団員・防災士など)は?
- 災害に役立つ施設は?(例:コンビニ)

## 進め方 ④

### 防災マップにまとめる

- ① 防災マップ用の大きめの地図を用意する。
- ② 撮影した写真を地図上に貼る。(地図の余白などを使う。)
- ③ 安全な場所、災害時に役立つもの、危険な場所などを  
カラーペンで記入する。  
気付いたことがあれば付箋に記入して貼る。
- ④ 地域のリーダーや災害に役立つ知識の持ち主の  
存在を書き込む。  
(例:区長・役員・消防団員・防災士・医師・看護師・  
アマチュア無線家・大工など)

## 進め方 ⑤

### 勉強会を開催する

作成した防災マップを基に地域で防災の勉強会を開催しましょう。行政担当者や防災の専門家などにも声をかけ、参加を促してください。



## POINT

### 地域防災力の向上で災害に強いまちに

「オリジナル防災マップ」は、作ることが目的ではありません。地域の方が主体となって防災を考え、問題点を洗い出し対策を講じることで、住民同士のコミュニケーションが図れ、絆が生まれます。災害時に大切な「助け合いの心」が育まれることで、地域防災力が向上します。